

満々開・佐保川わいわい桜祭り

人気 NO.1の賑わい……

鈴木 末一



第 16 回佐保川わいわい桜祭りは、夏を思わせる陽春の 3 月 31 日(土)に開催されました。今年、休眠期の気温が例年よりも低かった上に、3 月に入って平均気温が逆に 2~3℃高くなり、1 週間から 10 日ほど開花が早まり、満々開となり、そして快晴に恵まれ、人出は近年では最高になりました。



当会からは、5 回目の出店参加をしました。三種の食品バザー“唐揚げ”“焼きそば”“ネギ焼き”と、成と鯉のぼりなどの竹を利用した自然工作で協賛をしました。食品バザーでは、前日下ごしらえのために夕刻まで 6 名の方が奮闘されました。

食品バザーは開店を待ちわびる人たちが、店の前に列をつくるようになり、長蛇の列が途切れることなく続く。他の出店者の方から、あまりの人

気に羨ましがられたりしました。“唐揚げ”“焼きそば”は言うに及ばず、今年初めてのメニュー“ネギ焼き”も予想以上の人気。「おいしい！そだねー」の看板の効果かなとも……。18 名のスタッフの皆さんたちは、それぞれの持ち場で奮戦、時間の経過とともにプロ顔負けの手際よさで調理に励んでいただきました。

特に、焼きそばは、午後の来場者に備えて食材の買い付けにスーパーへ走る忙しさとなるなど、スタッフの皆さまには、ゆっくりと昼食を摂っていただく時間もないほどでした。

一方、自然工作では、多くの女子の小学生たちがチャレンジしてくれました。成の置物では、7 つの部品を木工ボンドで順番に接着していく。見本を見ながら、どの子も手際よく製作に励んでくれました。そして、最後に動眼を付けると、かわいい成の置物が完成です。でき上がった時「やったー」と、思わず声を上げて満面に笑みを浮かべてくれます。

午前中とは打って変わり、お昼過ぎから 5~6



名が一斉に鯉のぼりづくりにチャレンジしてくれるなど、クラフト用の机は満席となりました。吹き流しやお父さん鯉、お母さん鯉、赤ちゃん鯉に鱗を書き上げ、動眼を貼り付けて、支柱の竹棒に順番に通して完成です。

オリジナル作品作りで完成させた時、達成感と成就感に満ち溢れた子どもたちの表情は、いつ見ても癒されるものです。

総勢 18 名もの多数の皆さま方には、一息つく余裕もない状況で奮闘いただき、厚くお礼申し上げます。